令和8年度　年間指導計画

A科：生物科学科　B科：環境科学科　C科：食農科学科

教科名	農　業	科目名	農業と環境	単位数	4	履修学年・クラス	1A
担当者		使用教材	農業と環境（実教出版）				

学習目標

○農業生物の育成と環境の保全についての学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高める。
○農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

学習方法

○栽培の基礎である成長の原理や生産技術の基本を習得する。
○体験学習を重視し、実験・実習の繰り返しや調査・観察を重ねることにより、農業及び環境について学ぶ姿勢を身につける。
○個人・グループ担当区を設定し、栽培・調査についての技術の習得を図るとともに、協力して学習を進める。

学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
知	知識・技能（技術）	農業と環境に関心を持ち、その生理的特徴について深く理解しようとしている。また、栽培に必要な基礎的技術をみにつけようとしている。
思	思考・判断・表現	栽培や環境に関する諸課題を科学的にとらえて合理的に思考する能力を身に付けている。
態	主体的に取り組む態度	栽培と環境の関係性を理解し、生産性や品質の向上が経営につながることを理解している。

※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

学期	単元（題材）	学習内容	評価の観点 知	思	態	単元（題材）の評価規準	評価方法
前期中間	農業・環境学習とは何か	農業と環境のかかわり	○			[知]栽培や環境に関する基礎的な知識を身に付けている。 [思]栽培や環境に関する条件を理解している。 [態]関係する様々な資料や情報を収集し、管理を理解している。	・定期考査 ・ポートフォリオ ・授業観察
		農業や環境について学ぶ大切さ	○				
	農業と環境の学び方	プロジェクト学習とは何か			○		
	農業と自然・社会とのかかわり	人間と農業	○	○			
		世界の農業・食料・環境		○			
	日本の農業・農村と食料供給	日本の農業を支える自然環境	○				
		日本の農業・農村の姿		○	○		
		食料の流通・消費と食品産業		○	○		
	夏野菜の栽培①	トウモロコシの一生と栽培計画	○	○			
		施肥・耕うん・うねたて・マルチング・播種・定植・除草			○		
		中耕・土寄せ			○		
		生育調査			○		
前期末	作物をとりまく環境とその管理	作物栽培と環境	○			[知]作物をとりまく環境とその管理について理解している。 [思]肥料の効果・土壌の関係を理解している。 [態]栽培条件が生育に与える影響を理解している。	・定期考査 ・ポートフォリオ ・授業観察
		作物の生育と大気の環境			○		
		作物の生育を支える土	○	○	○		
	夏野菜の栽培②	除草・間引き			○		
		収穫・調査			○		
		栽培記録のまとめ		○			
	秋・冬野菜の栽培	ダイコン・ハクサイの一生と栽培	○	○			
		施肥・耕うん・うねたて・播種			○		
		生育調査	○				
		除草・間引き	○				

後期中間	環境の調査	生物調査	○		○	[知]作物をとりまく環境や環境の保全について理解している。 [思]栽培条件と養分の関係を理解している。 [態]環境保全や身近な生物の関係について理解している。	・定期考査 ・ポートフォリオ ・授業観察
		土壌の調査	○		○		
	作物をとりまく環境とその管理	作物の養分と肥料	○	○	○		
		作物をとりまく生物			○		
	環境の保全と修復・再生	環境保全と修復・再生とは	○				
		森林の保続と環境保全	○		○		
		農村の環境整備	○				
		身近な野生生物の保護		○			
後期末	秋、冬野菜の栽培	収穫・調査			○	[知]収量のなりたちについて理解している。 [思]栽培条件と収量の関係を理解している。 [態]家畜と飼育の重要性を理解している。また、人間との関りについて課題を見いだすことができる。	・定期考査 ・ポートフォリオ ・授業観察
		プロジェクトのまとめ		○			
	家畜の特性と飼育	家畜と飼育	○				
		おもな家畜の一生と生産	○				
		家畜の成長と繁殖	○		○		
		家畜の飼料と栄養		○	○		
		飼育環境の管理と整備		○			
		家畜と人間の新たなかかわり	○				
		ニワトリの飼育の実際	○		○		
		乳牛の飼育の実際	○		○		